

平成27年 第4回臨時会
平成27年10月26日

松川町議会会議録



松 川 町 議 会

平成27年

第4回臨時会

付議議案および議決結果一覧表

《 議案審議 》

議案番号	議 案 名	上程月日	議決月日	結 果	議決頁
議案第1号	平成27年度松川町一般会計補正予算 (第4回) について	10月26日	10月26日	可 決	10

平成27年 松川町議会 第4回臨時会
(第 1 日 目)

平成27年第4回松川町議会臨時会会議録 (第 1 日 目)

平成27年10月26日(月曜日)

午前9時30分 開議

開会宣告

議事日程の報告

日 程

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 町長あいさつ

第 4 議案第 1号 平成27年度松川町一般会計補正予算(第4回)について

第 5 町長あいさつ

閉会宣言

出席議員 14名

(別表のとおり)

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

(別表のとおり)

開会宣告

○議長（関 克義） 出席議員が定足数に達しておりますので、ただいまから平成27年第4回松川町議会臨時会を開会いたします。

議事日程の報告

○議長（関 克義） 議事日程の報告であります。本日の日程につきましては、お手元に配布のとおりであります。

本日の臨時会に理事者、各課長、局長の出席を求めています。

株式会社チャンネル・ユ一の取材を許可してあります。

=== 日程第1 会議録署名議員の指名 ===

○議長（関 克義） 日程第1、会議録署名議員の指名についてであります。会議規則第119条の規定により8番、島田弘美議員、9番、橋本喜治議員を指名いたします。

=== 日程第2 会期の決定 ===

○議長（関 克義） 日程第2、会期の決定についてお諮りいたします。

本臨時会の会期につきましては、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（関 克義） 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日と決定いたしました。

=== 日程第3 町長あいさつ ===

○議長（関 克義） 日程第3、町長あいさつであります。

深津町長、お願いします。

○町長（深津 徹） おはようございます。

秋真っ盛りでございます。ここ数日の朝は非常に冷え込みまして、紅葉も山の紅葉もいっそう進むものというふうに思っております。

本日は、大変に議員各位におかれましては、公私とともにご多端の中、臨時会を招集

をいたしましたところ、全員の皆さんにご出席をいただきまして大変にありがとうございます。また、平素様々な事業につきまして、ご指導ご協力をいただいておりますこと重ねてお礼を申し上げる次第でございます。

さて、秋真っ盛りと申し上げましたけれども、スポーツの秋、文化芸術の秋、そして実りの秋と、松川町が一番活気づく動きのある時でございます。

9月から10月本日に至るまで、様々な事業が週末には行われてきております。小学校、中学校の運動会、それから町民運動会も終わりました。そして10月に入りまして、果樹栽培100周年記念事業の一環として行われましたハーフマラソン、そして100周年の記念式典パーティー、様々な今年度の大きな事業が一つずつ終了をしているわけでございます。

また、昨日は文化祭、松川町の文化祭も先週末から開催をされ、多くの作品、それから演芸部門も行われまして、多くの町民の皆様方が文化に素晴らしい文化、芸術に触れたものというふうに思っております。

また、昨日は、およりての森の植樹祭、そしてにゃんたぶうのコンサート、ハロウィンパーティー、そして伊那谷グルメサミット in ペっかん楽市と、非常に目白押しの事業でございます。

それらの事業を通じて感じますことは、多くの地域の皆様方にご協力をいただき、実行委員会を立ち上げていただいたりして、そうした事業が遂行できますこと非常にうれしく思いますとともに、感謝を申し上げる次第でございます。まさに松川町が動いているな、そんな感じをする次第でございます。

そうした地域の皆さん方のパワー、力というものを松川町にはたくさんあるんだということを認識する中で、そうした住民パワーをこれからのまちづくり、地域づくりにどう活かしていくか、どうそうした皆さんと一緒にまちをつくっていくかということが、私どもに課せられた大きな任務だというふうに痛感をする次第でございます。そうしたまちづくりというものが、これからの10年、20年、50年、100年先のまちをつくっていくというふうに感じている次第でございます。

昨日、植樹祭が行われたわけでございますけれども、講師としてお世話になっております堤久先生の方から話がございまして、「100年先を目指して、この森をつくっていくんだ」という言葉がございまして、大きく感銘を受けた次第でございます。

来年度は、長野県が全国植樹祭が行われる地となっております。松川町も10ある地方事務所ごとの植樹祭の一環として、松川町のおよりての森が計画をされております。

そうしたことをきっかけにして、あの地域一帯、それから森林、あるいは緑、環境というものにもしっかりと目を向けてまいりたいというふうに考えている次第でございます。

本日、臨時会をお願いをいたしました。緊急を要する予算補正をお願いをする次第でございます。その中の大きなものが、今工事を取りかかっております神護原線、それから町谷線、この2本の道路についてでございます。

社会資本整備総合交付金を使っていくということで、計画をいたしておりましたけれども、社会資本整備総合交付金のうちの都市局、都市まちづくり課が管轄をいたしますいわゆる昔言われておりましたまち交といわれるものでございますけれども、社会資本整備総合交付金にはいくつも種類がございます。今、大草線でお世話になっているのは道路局でございます。

そのうちの旧まち公でございますけれども、非常に使い勝手、私どもの地方自治体にとりましては使いやすい事業であったわけでありましてけれども、国の政策によって用途地域でないと使用ができないという形になってまいりました。この社会資本整備総合交付金の旧まち交に属するものは、いろんな形の中で使えてきたわけでございます。地方がいろんなことを事業を起こしていく場面に大きくお世話になってきたわけでありましてけれども、方向性がだんだん変わってまいります。

そうした中で、県・国の方にもお願いをしてわけでありましてけれども、事業を交付金をつけていただくことができました。

先日も私の方に回ってまいりましたけれども、1億3,000万円という断トツの交付金をつけていただいております。そのために、松川町としても、事業を前倒しをしてやっていかななくてはならないという形になってまいりました。そうした中で、本日補正をお願いをいたしまして、事業を遂行してまいりたいというふうに思っている次第でございます。

そのほか、緊急を要する案件につきまして上程をいたしております。ご審議をいただきましてご認定をいただくことをお願いを申し上げまして、冒頭のあいさつといたします。

よろしくをお願いいたします。

== 日程第4 議案審議 ==

◇ 議案第1号 平成27年度松川町一般会計補正予算（第4回）について

○議長（関 克義） 日程第4、議案第1号、平成27年度松川町一般会計補正予算（第4回）

についてを議題といたします。

説明を求めます。吉澤副町長。

○副町長（吉澤澄久） それでは議案第1号をお願いいたします。

＝ 議案第1号朗読・説明 ＝

○議長（関 克義） 説明を終わります。

質疑を行います。質疑ありませんか。

熊谷議員。

○5番（熊谷宗明） それでは1点質問させていただきます。

歳出の8款土木費の3目の河川費、ご説明がありました名子井の崩落による河川排水工事でございますが、工事請負費300万円ということであります。

全協の折に川魚や水生生物が住めるというようなことで、自然環境に配慮した工事の要望があったわけですが、その辺についてどんなふうになっているか、その点について説明をお願いいたします。

以上よろしくをお願いいたします。

○議長（関 克義） 田中建設課長。

○建設課長（田中 学） ご質問いただきました環境の配慮等でございます。

こちらにつきましてはご意見いただきましたように、あそこところがやはり観光地でありますし、非常に清流として流れが良いということでもありますので、景観を重視いたしまして、三面張りを玉石にして、底も石玉石で三面張りの玉石の水路にしたいと思っております。

これによりまして、景観にマッチした水路になりますし、またあそこは少し流れが急でありまして、流量も多いことから制水の抑制もあるかと思えます。そんなことから延長にしますと42mを計画して測量させていただいてあります。

現在、ちょっとくの字に山側の方に曲がった水路の形になっておりますけれど、その辺もなるべく直線にさせていただいて、流れをよくして開渠としたいと計画しております。

よろしく申し上げます。

○議長（関 克義） 熊谷議員。

○5番（熊谷宗明） 説明いただきました。

非常に環境に配慮された工事をしていくというようなことで、本当に観光地として子どもたちが戯れて、また年をとった皆さんがマレットゴルフを楽しみながらそこでちょ

っと休息するというようなことに非常に配慮してくれたなと思っております。

これからもそんなことを含めながら、工事にあたっていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上といたします。

○議長（関 克義） ほかに質疑ございませんか。

米山議員。

○12番（米山由子） 2点お伺いをしたいと思います。

町長ご説明いただきました社会資本整備総合交付金でございますが、いろいろあるというお話でございました。都市局によるところの用地地区でなければ使用不可になってきたというご説明をいただきましたけれども。

今後のこの交付金の継続されるのか、厳しくなっていくのか、その見通しについて1点お伺いをしたいと思います。

もう1点は、歳出の方でございますが、神護原線の道路工事、それから町谷線の道路工事費ということでございますが、ちょっと具体的にどのような内容でございますのかご説明をいただきたいと思っております。

○議長（関 克義） 米山まちづくり政策課長。

○まちづくり政策課長（米山政則） それではお願いいたします。

社会資本整備総合交付金のこの都市局の関係でございますけれども、当町の計画期間が5年ということで、平成24年度から平成28年度までの計画となっております。

今回、用途地域の内容にかなり限定されてきているということではございますけれども、次回の計画、平成29年度からの計画につきましても、引き続き有利な交付金であることには変わりはないので、内容につきましてはまた用途地域ということに限れるかと思っておりますけれども、活用をして進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（関 克義） 続きまして田中建設課長。

○建設課長（田中 学） 工事の内容、現在計画しておる工事の内容でございます。

まず、神護原線の5,000万円であります。こちらにつきましては、現在旧ポーラのところまで今年度の事業で終わります。それでそのあとは、広域農道の唐沢川のところの広域農道のところから彫刻をやっておる大場さんのところまで残り340mについてやっていくわけなんですけれども、来年度御柱があることもありますので、工事とすると未契約繰り越し、あるいは3月に契約のみしておいて、御柱が終わったあとに実際工

事の方を進めていきたいと思えます。

工事については、広域農道のところから神護原神社の前でブロックを主に延長を伸ばしまして、340mのうちの約半分程度をやっていこうという、繰り越ししましてやっていこうと計画をしておるところであります。

続きまして町谷線の内容でございます。

町谷線につきましては、全線約450mの延長でございます。この工事につきましては、今年度の工事につきましては、南側の水路をすべて入れ替えをしていきたいと考えておるところであります。

主は歩道の改良でありますけれど、歩道の方につきましては来年度の工事としてやっていこうと思っております、今年度につきましては田んぼも終わっておりますし、南側の水路のすべての入れ替えを主にやっていく計画でございます。

よろしくお願ひします。

○議長（関 克義） 深津町長。

○町長（深津 徹） この今、ご質問の中で社会資本整備総合交付金がだんだん厳しくなるという状況下という質問でございましたけれども、私も議会の場で国の動き等についてお話をできておりますけれども、厳しくなるというふうに認識をいたしております。

この都市局の場合には、用途地域ということで、国の方でコンパクトシティー。先日私も、県の方に出向きまして、担当課長と色々な話をしてまいりましたけれども、私の方から自分はこういうふうを受け取っているという、厳しくなる。コンパクトシティーを目指しているのかということまで話をいたしましたけれども、「町長の言うとおりで」と「方向としたらそういうような形になってくる」ということでございます。

また、いくつもあるというふうに申し上げましたけれども、今、大草線は道路局の分野で行っているわけでありまして、これにつきましても議会の皆様方にもお諮らいをいたしましたけれども、当初60%の補助でやっていたものが52%になってきたということでございます。

これ国全体の動き、国の財政状況を見ますと、国も非常に厳しい中でございます。そうした中で、地方創生、まち・ひと・しごとというような形、あるいは経済をアップしていこうという形を大きく打ち出しております。

国の財政状況を鑑みますと、そうした中で、これから地方創生等でお金を使っていくということは、どちらかをやはり制限をしていかななくてはならないというふうに思いますし、また税と社会保障の一体改革、これらについてもしっかりと進めていただきたい

なというふうに思っております。

町としましては、そうした町単事業だけで事を進めていくということは非常に難しい問題がございます。そうした中で、そうした動向をしっかりと情報をキャッチしながら、町のこれからの事業等についても、しっかりと精査をしていかななくてはならないというふうに思っているのが現状でございます。

○議長（関 克義） 米山議員。

○12番（米山由子） 町長ご答弁いただきましたとおり、本当に今、地方創生といいますけれど、地方でございますので、コンパクトシティーといいながら、やはり地方が元気にならなければならないということは非常に重要なことだと思います。

ぜひ、先を見据えた中で、この有利な交付金等につきましても、しっかりととっていただきながら進めていただければということは希望させていただきたいと思います。

それからまた課長の方からご説明いただきましたけれども、前年もそうございましたけれども、繰越事業が非常に多くなるという点については、職員の皆さんの大変な努力もあると思いますし、そのせつかくのお金が使えないというようなことになってもしけませんので、ぜひ計画的に繰り越しが全部かかるようでございますので、しっかりお使いいただけるような計画性のある仕事を進めていただければということが希望でございます。

○議長（関 克義） 深津町長。

○町長（深津 徹） 地方創生についてでございます。

私の思いの一端でございますけれども、今、地方が元気にならなくてはということで、地方創生、あるいはまち・ひと・しごとということで、国は力を入れておっていただけます。

非常に地方が元気にならなければ日本は駄目になってしまう。これは一極集中は駄目だ、これは非常に良い傾向だというふうに思います。

しかしながら、今度は地方の中に新たな中核都市というもの、あるいはコンパクトシティーという形の中で、実際の地方の現実、地方自治体、町村の抱える実態、現場をしっかりと認識をしながらやっていただかないと、地方の中にまた一極集中が出るような、あるいはコンパクトシティーという名の下で切り捨てにならないような、本当の中山間地の山村が切り捨てにならないような形をぜひともとっていただきたい。それには何よりもまずは地方の現場というのをしっかりと認識する中で、政策を進めていただきたいというのが、町長としての思いでございます。

○議長（関 克義） ほか質疑ございませんか。

坂本議員。

○4番（坂本勇治） 先ほどの名子井の件で質問させていただきたいと思います。

先ほど40数mの景観に配慮した石積みの三面張りの水路ということで、非常に良いことだと思えますが。

あの水路の南側の斜面が、非常に急峻で崩落がたびたびあるということを聞いております。水路の改修プラスその治山、また防災といった面でどうお考えか。また、それにこの金額が入っているのか確認をお聞きしたいと思えますので、お聞きします。

○議長（関 克義） 田中建設課長。

○建設課長（田中 学） 議員さんおっしゃられますとおり、南側の斜面につきましては軟弱で、岩頭もありまして、やっぱり崩落の原因があったのかなというところであります。

今回の工事の中に治山、また崩落に対応したところまでの工事は入っておりません。

水路が若干遊歩道側にずれて、今までよりは山に近いというふうではなく、少し余裕ができるかなというところがあります。

ただ、言われますように治山等につきましては、確かに心配なところありますので、今後様子をしっかり見ながら、また林務の方とも相談しながら、治山等を検討していきたいと思っております。

○議長（関 克義） 坂本議員。

○4番（坂本勇治） 今回は水路だけということですが、せっかく作ったものが開渠ですので、当然山の上から崩れてくればまた埋まって、しかもそれを中を出すと土砂を出すとなると作ったものをもう一回また壊れるといったようなこともあるかと思えます。

できれば併用して、できるだけ安全な方向、山側から多少でも離れるということですので、平らな緩衝地を作るなど、できればこの金額でできればですけども、できなければまたそこら辺も考えて、安全で長期間持つような構造物としていただければと思えます。

以上です。

○議長（関 克義） ほか質疑ございませんか。

加賀田議員。

○1番（加賀田亮） それでは1点お伺いいたします。

社会資本総合整備交付金について、ちょっと全般的なことではありますけれども。

先月、一般質問でも申し上げましたけれども、こういったものというのは国の交付金

であったり、地方債であったりというふうな形で、国の方の交付金もその財源というのが、今、多くは国債に頼っている状態でありますので、要は将来世代から4割5割のお金を負担してもらっているということだというふうに私は理解しております。

それに対して町民の皆さんが、もちろん住民としておられるわけでございますけれども、当然県民として国民として払った税金、こういったものも環流して今回有利有利といいながらも使うというふうな状況でございます。

いま一度お聞きしたいんですが、この将来世代に対してどのように説明責任を果たしていくのか。将来に対して前借りすること、将来の世代に対して負担していただくことに関して、どのような形で町民のご納得をいただくのか、それに関してちょっと1点お伺いしたい。

よろしく申し上げます。

○議長（関 克義） 深津町長。

○町長（深津 徹） 今、私は、国の財政状況ということを申し上げました。

私も町長という立場になりまして把握をいたしております。ただ、町長という立場の中で、住民の負託に答えていく、あるいは住民要望の中でこういったものを選択してやっていくかということが、私どもに課せられた大きな役割だというふうに思っております。

行政には決算がございます。そうした中で、やっぱり将来への負担度というものも頭に入れながら、やはり国の方から依存財源というふうに言われますけれども、どうしてもそうした力をお借りしてやっていかななくてはならないというのが現状でございます。

それを決算で出てくる数値をどう読んで、私はよく言っております。松川町は決して裕福であるわけじゃないと。どうやって経済を回しながら、住民負託に答えていくかということが大切だというふうに思っております。

そうした中では、先ほども申し上げましたように、様々な厳しい状況下がこようかというふうに思っておりますので、しっかりと精査する中で考えてまいりたいというふうに思っております。

○議長（関 克義） 加賀田議員。

○1番（加賀田亮） ご説明いただきました。

町長のお考えはよく理解できたというふうに思っております。

今回の用途に関しまして、神護原線や町谷線に関しまして、いろいろ言うつもりはございませんし、こちらに関しては一日も早くの完成が望まれるものであるということは、

住民の要望と一致しているのかなというふうに思っております。

それに関しては特に異存はないわけですが、申し上げましたとおり、こういったもの積み重なって積み重なって、結局は将来の世代が負担する税金以上に、この返済に回される資金が多くなってしまって、結果、住民サービスが低下するということが、要は将来世代の負担というふうに言われていることでございます。

これに対して、必要性があるのはよくわかっていますが、必要性があるから同時にやはり説明の責任も大いにあるのではないかなというふうに思っております。いわゆる将来はこういうふうなことが見込まれるよと、こういうふうなサービスがひよっとしたら縮小するかもしれない、もしくはこういうふうな負担が増えるかもしれないよということを情報をきちんと開示しながら、こういうふうな事業の推進というのが必要なんではないかなというふうに思います。

国から有利な交付金をもってくる、もらってくるということは、一見財政の運営という意味では一つの手法であるというふうには十分承知はしておるつもりではございますが、やはり一つのモデルとしては昭和の高度成長期のモデルではないかなというふうに思っています。経済が永遠に発展し続けるというふうな前提に基づいたモデルだと私は認識しています。

こういった時代だからこそ、町長も一般質問のご答弁でなさったように、「これからだんだんと負担が必要になってくるだろう」ということをおっしゃいました。まさにそのことでありますけれども、町民に対して特に次の世代に対して丁寧で精緻な説明が必要ではないかというふうに思っています。

この辺のことを要望に変えまして質問とさせていただきます。

○議長（関 克義） ほか質疑ございますか。

森谷議員。

○6番（森谷岩夫） 今のその町谷線の話であります、地元のことでもありますので、恐縮であります。

米山議員さんの方からも質問がございまして、今、今年度は南側の水路の方をというふうなお話もありました。

今、加賀田議員さんのご質問等もありましたが、通学路ということで非常に地元でも長年要望してきたものでありますので、今回道路局の方の仕組みの改訂で前倒しで交付金が入ってきたというふうなことで、非常にありがたいというふうに思っておりますが。

もう少し28年の完成までの道順を、どのぐらいのときにどんなことをしてというよ

うなことを若干お聞きをしたい。保証費等も今年度に1,000万円ほど盛っておりますが、順序だっってお願いを聞かせをいただきたいと思います。

○議長（関 克義） 田中建設課長。

○建設課長（田中 学） 工事のスケジュールであります。

まだちょっと打ち合わせ中ではありますが、現在計画しておるのは、あそこに電柱が12本ほどあります。それが中電とNTTの許可してある電柱であります。この電柱移転の方を合わせて進めていきたいということがあります。

それから水路につきましては、近いうちに地権者の皆様に現地の方に集まっておきまして、事業の早まった理由、また今、今年度計画しておる事業につきまして、現地の方で立ち会いながら説明をさせていただきたいと思います。

当然来年度の4月末からは、田んぼの方の水が必要ということでもありますので、工事につきましては繰り越したとしても、4月いっぱいには終わるような形でやっていかなければいけないのかなと思っております。

また、あその水路につきましては、すべての田んぼについて道路を横断して、北側の田んぼの方に水路の水の取り入れを行っておるところであります。ですので取り入れにつきましては、今回は仮設的につながさせていただきまして、来年度舗装も合わせて全面的に横断暗渠の入れ替え等もやりながら、L型の反対の歩道の設置と合わせてやっていく予定であります。

今年度につきましては、なるべく早くU字溝、側溝の方を入れたいということになります。

側溝につきましては、現在はベンチフリュームの500の2型というものであります。相当傷んでおりますので、車道用に耐えられる特車の360型という深いものがありますけれど、こちらの方の水路にしまして。今の流量は十分流れても安心なものにしていきたいと思っております。

また、交差点の部分につきましては、現在警察の方とも協議中ではありますが、また交差点改良、信号機の設置に向けて今動いております。そちらの関係でも合わせて支柱、照明灯の支柱について、一部工事の中でやっていければ良いのかなと、そんなことを漠然とちょっと今計画しておるようなところであります。

よろしく申し上げます。

○議長（関 克義） 森谷議員。

○6番（森谷岩夫） ありがとうございます。

改良がこれから始まるとして、その今の通行の加減、子どもたちも通っておりますし、結構車の通るところであります。そういった点の安全対策というのはどんなふうに進めていくか、その辺り。

○議長（関 克義） 田中課長。

○建設課長（田中 学） 今年のところは、水路の入れ替えなので、できれば片側通行等で安全を確保しながらやっていきたいと思っております。

ただ、来年度に入りますと、先ほど言いましたように全面の舗装、また路盤の入れ替え、それから横断暗渠等がありますので、来年度につきましてはまたしっかり地元と協議させてもらいながら、相談させてもらいながらと思いますが、全面通行止めも考えながらやっていかなければならないのかなと思っております。

お願いします。

○議長（関 克義） そのほか質疑ございますか。

間瀬議員。

○10番（間瀬重男） 1点お伺いをいたします。

6ページの歳出でございますが、民生費の松川荘の冷暖水の循環ポンプの修繕ということで40万円出ておりますが。先だって、22日の北部議会の出発の前に、課長から資料等をいただいたわけですが。

故障の状況、また修繕の方法等について、前倒しをしてやられたということですので、その点をお伺いをいたしたいと思っております。

○議長（関 克義） 大澤保健福祉課長。

○保健福祉課長（大澤孝史） 今回の修繕の関係は、冷温水の循環ポンプの方の故障ということで、ポンプそのものを交換する必要性が出てきたということになります。

このポンプにつきましては、冬場につきましては温水を送る。また、夏場におきましては冷水を送るというようなことで、各居室の方にこの水の方回ってまいりまして、居室の方から暖をとるというような形でなってくるものであります。

そういう状況がありますので、その循環ポンプのその循環作用ができないということですので、今回緊急対応ということをしていただくというのが、今回の修理の内容であります。

ですので、元々のそのあったものというか、考えていたものを前倒しということではなくて、急遽の故障ということへの対応で、高齢者の皆さんがやはり居室の方で暖房等がとれないということは非常に困ることですので、そういったことへの急遽の対応とい

うことになりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

なお、このポンプにつきましては、これまで故障等はなく、今回初めて故障をしたということでもありますので、緊急対応でお願ひしたいということでもあります。

よろしくお願ひします。

○議長（関 克義） 間瀬議員。

○10番（間瀬重男） ちょっと私の聞き違ひの面もあったかと思ひますが。

これから寒くなる中で、緊急対応の修繕ということですが、ぜひこれから冬に向かいますので、そんな点でしっかり修繕をお願ひをしたいと思ひます。

以上であります。

○議長（関 克義） ほか質疑ございますか。

菅沼議員。

○2番（菅沼一弘） 1点ほどお伺ひをいたします。

唐沢川についてでございますけれども、河川の改修のような計画について、どのような形で今進んでいるのかちょっとお伺ひをし、また神護原線の方が先か、唐沢川の方が先かというような形もあろうかと思ひますが、そこに架橋もありますので、その点どんな形で進んでおられるかちょっとお伺ひをできればと思ひますが。

○議長（関 克義） 田中建設課長。

○建設課長（田中 学） 唐沢川の改修につきましては、毎年1級河川になりますので、毎年県の方に要望してございまして、引き続きこれからは県に要望してまいります。

また、今回神護原線が、広域農道とぶつかる場所の交差点のところ、あそこのところに唐沢川に床板というか橋梁がありますけれど、あれにつきましてはやっぱり県の持ち物でありますので、そちらの方についてはまた県に改めて交差点の部分と合わせて、あそこの改良等も引き続き要望して、改良の方を要望を続けていきたいと思っております。

○議長（関 克義） 菅沼議員。

○2番（菅沼一弘） ご説明ありがとうございました。

今お聞きしたように、唐沢川もあそこの部分は一番改良がされてないというような形の中で、狭い河川になっておるかと思ひます。そんな形の中で、氾濫等が起きれば、そこのところも大変かと思ひますし、また架橋に物が詰まれば必ず氾濫というような形もありますので、そんな点も踏まえながらまた要望をしていただければありがたいと思っております。

よろしく申し上げます。

○議長（関 克義） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（関 克義） 質疑なしと認めます。

質疑を終結し、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」との声あり）

○議長（関 克義） 討論なしと認めます。

採決を行います。

議案第1号について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立13名）

○議長（関 克義） 全員賛成であります。

よって、議案第1号、平成27年度松川町一般会計補正予算（第4回）については、原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本臨時会に付議されました議案はすべて終了いたしました。

これにて閉会することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（関 克義） 異議なしと認めます。

=== 日程第5 町長あいさつ ===

○議長（関 克義） 日程第5、町長あいさつであります。

深津町長。

○町長（深津 徹） 上程いたしました補正予算案について、お認めいただきまして大変にありがとうございます。事業の推進に頑張りたいというふうに思っている次第でございます。

国との動向、それから地方自治体のいろんな事業を推進する中でのお金のやり方等総論各論ございまして、なかなか難しい一面がございます。しかしながら、地方自治体としては、しっかりと見極めながらやっていかななくてはならない時代に入ってきているということは認識をいたしております。今後、そんなことも考えながら、行政運営にあたってまいりたいというふうに思っております。

まだまだ今月末には、関西松川の会、それから11月の3日には関東松川の会ということで、また議会の皆様方にもお世話になって、松川町出身者の皆さんとの交流、懇親

も深めてまいりたいというふうに思っている次第でございます。

これからまだまだ実りの秋ということで、銀座NAGANOの松川町の日、またふじ祭りと実りの秋ということで、大いに発信をしてまいりたいというふうに思っております。

変わらぬご指導ご鞭撻をお願いを申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

本日はありがとうございました。

閉 会

○議長（関 克義） 以上をもちまして、平成27年第4回松川町議会臨時会を閉会といたします。

閉 会 午前10時14分

議員・説明員・事務局出席表

I. 議員出席表

議席 番号	氏 名	第1日
		10月26日
1	加賀田 亮	○
2	菅 沼 一 弘	○
3	黒 澤 哲 郎	○
4	坂 本 勇 治	○
5	熊 谷 宗 明	○
6	森 谷 岩 夫	○
7	米 山 俊 孝	○
8	島 田 弘 美	○
9	橋 本 喜 治	○
10	間 瀬 重 男	○
11	松 井 悦 子	○
12	米 山 由 子	○
13	白 川 靖 浩	○
14	関 克 義	○

II. 地方自治法第 121 条の規定による出席者の職・氏名

職 名	氏 名	第 1 日
		10 月 26 日
町 長	深 津 徹	○
副 町 長	吉 澤 澄 久	○
教 育 長	高 坂 敏 昭	○
総 務 課 長	塩 倉 智 文	○
まちづくり政策課長	米 山 政 則	○
住 民 税 務 課 長	北 村 稔	○
会 計 管 理 者	塩 倉 智 文	○
保 健 福 祉 課 長	大 澤 孝 史	○
環 境 水 道 課 長	下 沢 克 裕	○
建 設 課 長	田 中 学	○
産 業 観 光 課 長	片 桐 雅 彦	○
こ だ も 課 長	福 島 敏 美	○
生 涯 学 習 課 長	小 木 曾 雅 彦	○
議 会 事 務 局 長	酒 井 仁	○

III. 本会議に職務のため出席した者の職・氏名

職 名	氏 名	第 1 日
		10 月 26 日
議 会 事 務 局 長	酒 井 仁	○
書 記	榛 葉 美 穂	○

以上、会議の内容に相違なきことを認め、地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

松川町議会議長 関 克 義

署 名 議 員 島 田 弘 美

署 名 議 員 橋 本 喜 治